

クラブ名	福島ユナイテッド FC		
活動テーマ	ポスター配布・掲示		
実施場所	福島駅周辺		
活動部署	事業部		
参加者	田中雄大	中村翼	石井稜真
	當麻颯	後藤裕二	
活動期間	2025 年2月 12 日(水)		

【基本情報】

【活動報告詳細】

■活動目的

チームや自分たちのことを地域の方々に知ってもらう為や交流することにより、自分たちの存在意義を改めて認識する機会。

■活動内容

ポスター配布

自ら掲示意思を確認し許可を頂いたところへの貼り付け作業

■選手コメント

田中雄大 選手

福島ユナイテッド FC の認知度は非常に高く(体感では 80%以上)、応援してくれている人がたくさんいるということ、今回地域の方とコミュニケーションを取る中で感じた。ただ、スタジアムへ来られたことのある方はまだまだ少なく、こうした認知度を上げる活動からいかにスタジアムへ足を運んでもらうようにつなげていくかを考えて動いていかないといけないと思った。

また、クラブの存在を知ってくれている人は多いが、選手のことはほとんど知られていないということも改めて体感した。今回の活動でも自ら選手だということを伝えないと気づいてすらもらえないので、顔を合わせて話すことの重要性を理解したと同時に、選手として謙虚にかつ穏やかに自己 PR する力も大切になるのだと痛感した。

中村翼 選手

ポスター配りを通して、改めて多くの人に支えられてチームが活動できていることを学んだ。ポスターを渡したときに、応援しているよ。といってくれる方もいた。地域の方とのつながりを大切にする事でより応援される存在になることができると感じた。今回は福島駅周辺で行ったが、自分の住んでいるところでもポスターが貼ってあった。より多くの方にチームを知ってもらうきっかけとして、ポスター配りという貴重な経験ができてよかった。

石井稜真 選手

街中の様々なお店を回ってポスターを貼っていただけるようお願いをした。ほとんどの方が快諾してくれて、昨年のを貼ってくれている方も多かったので、新しいものに更新することができた。チームのことを知ってくれている方が多く、「昨年惜しかったね」などと結果を気にしてくれている方もいて、クラブと地域との繋がりをたくさん感じられた。自分のことを知ってくださっている方はまだ見つけられなかったので、良い結果を残して、チームの認知度とともに自分の認知度を上げていけるように頑張ろうと思った。

後藤裕二 選手

福島ユナイテッドFCのユニフォームを着て、ポスター配布を行いお店の人や地域の方々とお話すると、多くの人に応援されていることを実感致しました。また、ポスターを配布してお店に掲示していただくと、福島ユナイテッドFCのチームカラーが赤のため道行く人の目に止まり、興味を持っていただける可能性が高いと感じました。なので、ただ選手としてピッチだけで活動するだけではなく、こういった地域に発信していく活動を増やして行けたらいいと思いました。

當麻颯 選手

今回、地域の方たちにポスターを直接配布するという貴重な体験ができ、普段のサッカー活動では得られない多くの学びや気づきがあった。笑顔で迎えてくれ、頑張れ！と声をかけてくださる方々と触れ合い、自分たちが多くの人に支えられてプレーできているということを改めて実感した。

ポスター配布という行動一つにも、地域とのつながりを深め、クラブの魅力を伝えることができることに気づいた。これからも、サッカーを通じて地域の方々に恩返しできるように、感謝の気持ちを持ち全力でプレーしていきたいと強く感じた。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	福島ユナイテッド FC		
活動テーマ	福島ユナイテッド FC 農業部		
実施場所	各農家さん		
協働団体	安斎果樹園	エガワコントラクター	鈴木農園
	渡辺果樹園	カトウファーム	かねよ果樹園
参加者	當麻 颯	田中 雄大	中村 翼
	石井 稜真	後藤 裕二	
活動期間	2025 年 4 月 24 日(月)～		

【活動報告詳細】

■活動目的

福島県内の農家のみなさまと連携しながら、高品質な福島の魅(味)力を発信し、より一層地域の活性化につながる活動を積極的に取り組み、サッカーだけではなく「サステナブル福島」として、スポーツ×農業×SDGsによる社会貢献活動を積極的に取り組んでまいります。

■活動内容

スポーツに関わる機会の提供だけではなく、農業部を通じた安心安全な農作物づくりから地域の健康に寄り添います。

選手が試合で勇姿を見せることで、地域に夢を与え心身ともに健康を推進します。

また、持続可能な農業の取り組みを実践し、より環境負荷が少なく自然や動植物と共存して資源の保全に努めます。

みんなの大好きな福島の魅力を全国に発信し、地域の未来を守り続けていきます。

■選手コメント コメントは各選手につき200文字以上お書きください。

後藤裕二 選手

福島ユナイテッド FC 農業部の活動で初めてアスパラガスの収穫を行い、アスパラガスがどのような過程で出荷まで行われているのかを農家さんから教えていただきました。採れたてのアスパラガスを生で食べさせていただいた時はスーパーで買ったものとは比べられないくらい新鮮で美味しかったです。この新鮮で美味しいアスパラガスを福島ユナイテッド FC 農業部の活動を通して全国の人に知っていただけたら良いと思いました。

中村翼 選手

自分たちが普段食べている果物にこれだけ多くの過程があり作られていることを知った。今回の作業は摘花作業で、枝につく実を少なくして栄養を集めるために、多くの花を摘む作業であった。本来、桃になる多くの花を摘むのは少し悲しい気持ちになった。福島の農業は原発事故から 14 年たった今でも、事故が起こる前の収益に

は戻っていない。ユナイテッドと福島の農業がつながり、果物や野菜をすることで買ってくれる人が増えると思う。ただ参加するだけでなく、良さを選手が発信していくことが大切だと感じた。

石井稜真 選手

地道な作業を長時間続けて、想像していたよりも大変な作業だった。プロの農家さんたちは作業の効率がとてもよくて、農作物を愛情持って育てているのを見て感じた。農家の方々とたくさんコミュニケーションをとることができて、「元気をもらえた」などと言ってもらえたことがとても嬉しかった。高齢の方が多かったのも、若い農家の人が増えていって福島のおいしい名産品をずっとつなげていければいいなと思った。

當麻颯 選手

今回の農業体験を通じて、普段のサッカーとは異なる世界に触れることができ、とても貴重な経験になった。炎天下の中での作業は体力的にも簡単ではなかったが、農家の方々が日々丹精を込めて桃を育てている姿に改めて敬意を感じた。また、農家の大変さだけでなくそのやりがいや楽しさも教えていただいた。そして地域の方々の応援が、僕たちの日頃のプレーの支えになっていることを改めて感じ、今後もスポーツと地域をつなぐ存在として今回のような交流を大切にしながら自分自身も成長していきたいと感じた。

田中雄大 選手

喜多方は寒暖差が大きく、また雪解け水が豊富なため、甘くておいしく、ミネラルが豊富なみずみずしいアスパラガスになる。実際に収穫してみると断面から水が滴ってきて瑞々しさを体感することができた。採れたては生でも食べられるということで少し頂いたが、生なので若干の辛さもあったものの、甘さを十分に感じられておいしかった。根元側を頂いたのだが繊維も気にならずとても柔らかかった。作業自体は難しくないが、1本ずつ手作業で30 cm以上になっているかを確認してカットする必要があるのも、もっと多く生育していくと大変だなと思った。

■活動写真



